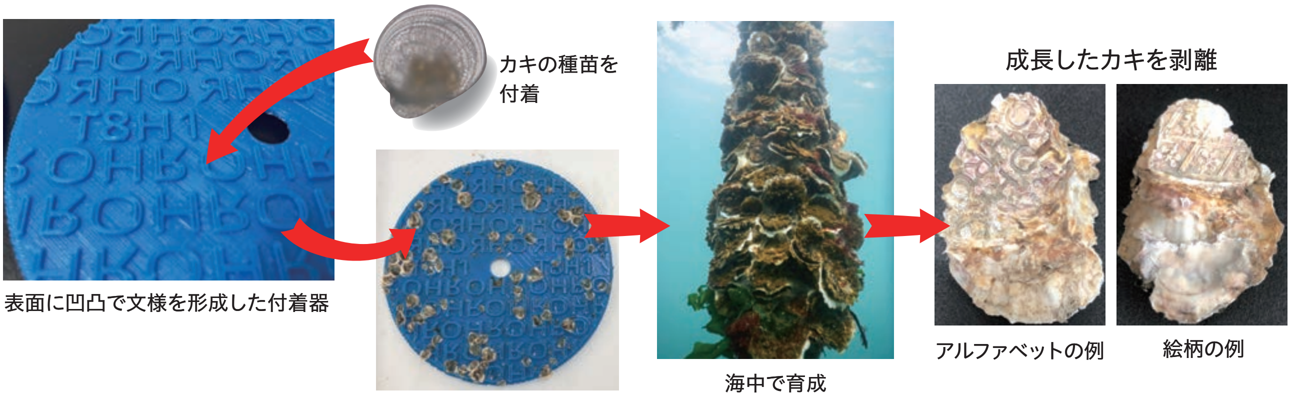
文字・図形を入れられる養殖カキ用付着器

～養殖カキの殻に任意の文様を形成させ、標識に利用できます～

アピールポイント

養殖カキの殻に任意の文様を形成することで、産地や銘柄判別が可能になる付着器を開発しました。

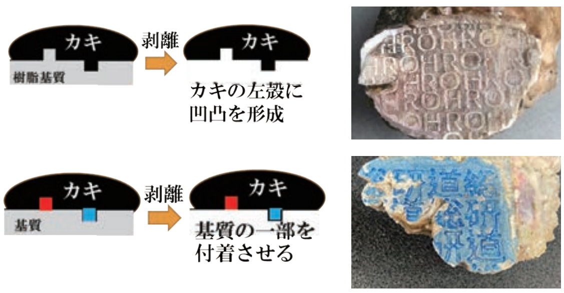


・既存のカキ養殖において付着器を置き換えるだけでカキの殻に任意の標識を形成できます。
・文字、図形、絵柄、色など多彩な文様を標識することが可能です。

発明の特長

カキ類が付着器の表面に沿って殻を伸ばして成長する性質を利用し、付着器の表面に文字、図形、絵柄など自由に設計した文様をカキの殻表面に転写する技術です。文様を表面に形成した付着器にカキを付着させて養殖することで、カキの左殻（付着器に固着する側）の表面に文様が自然に写ります。さらに、複数の材質を組み合わせて作製した付着器を使うことで、カキの左殻に色の文様を転写することも可能です。

実施例



活用に向けて

・養殖カキの産地、ブランド名を標識することで、トレーサビリティ確保に活用
・養殖カキへの生産者、法人名、委託者名などを標識するサービスへの活用
・養殖されたカキの種類（マガキ、イワガキ、シカメガキなど）の判別への活用
・養殖用カキ類人工種苗生産時の、系統や品種の識別標識としての活用

基本情報

発明の名称	付着器、及び水産動物の養殖方法		
出願人	道総研、北海道電力（株）		
特許出願番号	特願2022-054879		
出願日	令和4年3月30日	登録日	
実施許諾実績	■有り　□無し	発明場	水産研究本部　栽培水産試験場

キーワード：養殖カキ、標識、付着器、トレーサビリティ